

平成20年度 岐阜県高等学校新人バスケットボール大会  
 兼 東海高等学校新人バスケットボール大会県予選会  
 大会第2日:平成21年2月7日(土)  
 会場:関わかさプラザ・大垣商業高校

## 男子の部

&lt;審判&gt;

Aブロック 決勝	岐阜総合	92	$\begin{bmatrix} 29 - 16 \\ 24 - 20 \\ 20 - 24 \\ 19 - 30 \end{bmatrix}$	90	斐太	小牧秀則・林 義貴
Bブロック 決勝	中津川工	76	$\begin{bmatrix} 23 - 15 \\ 17 - 11 \\ 12 - 17 \\ 24 - 13 \end{bmatrix}$	56	岐阜農林	棚橋英一・菅野 浩
Cブロック 決勝	富 田	72	$\begin{bmatrix} 12 - 17 \\ 13 - 11 \\ 21 - 11 \\ 26 - 8 \end{bmatrix}$	47	岐南工	大江裕之・山田祐治
Dブロック 決勝	美濃加茂	89	$\begin{bmatrix} 22 - 13 \\ 24 - 5 \\ 33 - 11 \\ 10 - 8 \end{bmatrix}$	37	長 良	小森邦弘・名越龍男
5位決定 予備戦	岐阜農林	74	$\begin{bmatrix} 20 - 11 \\ 20 - 15 \\ 20 - 16 \\ 14 - 24 \end{bmatrix}$	66	斐太	高橋英彦・後藤慎二
5位決定 予備戦	長 良	68	$\begin{bmatrix} 9 - 16 \\ 14 - 15 \\ 19 - 19 \\ 26 - 6 \end{bmatrix}$	56	岐南工	角平和優・古田 怜
決勝 リーグ	中津川工	67	$\begin{bmatrix} 14 - 7 \\ 13 - 12 \\ 16 - 13 \\ 24 - 18 \end{bmatrix}$	50	岐阜総合	増田博徳・長屋 貴

岐阜総合はハーフコート2-3ゾーンディフェンス、中津川工はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。互いに相手ディフェンスを崩せず開始6分で4-4とどちらも点が入らない。中津川工は 田口の3点シュートを含む3連続ゴールで7点リードとし、第1ピリオドを終了。第2ピリオドに入り、中津川工はオールコート2-2-1ゾーンプレスを仕掛け、速攻につなげるが、岐阜総合もディフェンスの粘りをみせ、必死に食らいつき、前半は中津川工の13点リードで折り返す。

後半に入っても互いにアウトサイドシュートが決まらず得点が伸びない。第3ピリオド終盤から岐阜総合はハーフコートマンツーマンに切り替え、プレッシャーディフェンスから早い展開に持ち込み、何とか相手を崩そうと試みるが、中津川工 田口、原、谷本の落ち着いたボール運びに空回りしてしまう。第4ピリオドに入り、岐阜総合 松井のジャンプシュートやバスケットカウントシュートで応戦するも、中津川工は 田口のドライブ、ジャンプシュート、谷本の3点シュートなどで点を重ね、残り5分でリードを20点に広げる。その後、岐阜総合は意地を見せ、吉田の3点シュート、小西のジャンプシュートなどで点差を縮めたが、中津川工がセーフティーリードを保って勝利した。中津川工は、安定したゲーム運びで常にリードを保ち、貴重なリーグ戦の1勝を掴んだ。(野々村浩二)

決勝 リーグ	美濃加茂	93	$\begin{bmatrix} 24 - 16 \\ 16 - 17 \\ 27 - 12 \\ 26 - 21 \end{bmatrix}$	66	富田	松野瑞穂・清水 潤
-----------	------	----	--	----	----	-----------

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。前半、美濃加茂は 打江を起点として、フレックス、スクリーンを巧みに使いノーマークを作って、中村、高橋、国本が得点を重ねる。富田はオールラウンドプレイヤーの 真里谷を中心に内外角からシュートを放つが、ペースがつかめない。美濃加茂は、オールコートでプレッシャーをかけるディフェンスに切り替えるが、富田は 真里谷がフラッシュして難なく攻め、何とかくらくらいつく。前半は40-33と美濃加茂の7点リードで折り返した。

第3ピリオド、富田はリバウンドから速攻に走り速い展開で攻め入るものの、美濃加茂のゴール下の長身 国本(199cm)に阻まれ、なかなかシュートが入らない。対する美濃加茂は前半に続きインサイドでは 水野、高橋、国本を中心に得点を重ね、アウトサイドでは 小川、中村が3点シュートを着実に決め、一気に点差を広げた。

第4ピリオド、富田は激しいディフェンスから相手のミスを誘い、佐田の3点シュート、島戸のドライブで必死に追い上げをはかるものの、美濃加茂は安定したシュート力で差を広げる。結局、93-66で美濃加茂が勝利して決勝リーグの1勝目をあげた。(林香奈江)

## 女子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜女子	137	$\begin{bmatrix} 26 - 2 \\ 33 - 16 \\ 29 - 5 \\ 49 - 4 \end{bmatrix}$	27	大垣商	神山元秀・広瀬鮎美
Bブロック 決勝	岐阜総合	58	$\begin{bmatrix} 11 - 17 \\ 14 - 12 \\ 12 - 10 \\ 21 - 8 \end{bmatrix}$	47	土岐商	藤浪元明・赤石恵美子
Cブロック 決勝	岐阜商	91	$\begin{bmatrix} 25 - 15 \\ 18 - 10 \\ 26 - 14 \\ 22 - 14 \end{bmatrix}$	53	中津商	岩永英夫・井口貢志
Dブロック 決勝	高山西	61	$\begin{bmatrix} 14 - 18 \\ 15 - 11 \\ 18 - 4 \\ 14 - 13 \end{bmatrix}$	46	長良	小池匡弥・加藤 文

5位決定 予備戦	土岐商	78	$\begin{bmatrix} 20 - 17 \\ 14 - 19 \\ 24 - 14 \\ 20 - 11 \end{bmatrix}$	61	大垣商	小泉純子・廣瀬卓哉
-------------	-----	----	--	----	-----	-----------

5位決定 予備戦	長良	72	$\begin{bmatrix} 15 - 19 \\ 23 - 13 \\ 13 - 13 \\ 21 - 20 \end{bmatrix}$	65	中津商	三浦 潔・鈴木雅雄
-------------	----	----	--	----	-----	-----------

決勝 リーグ	岐阜女子	96	$\begin{bmatrix} 30 - 12 \\ 22 - 7 \\ 27 - 9 \\ 17 - 18 \end{bmatrix}$	46	岐阜総合	土本 繁・三宅浩平
-----------	------	----	--	----	------	-----------

両チーム、ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。岐阜女子は激しいディフェンスで相手のボールを奪うと、速攻とアーリーオフェンスで 中村早、安江、米田を中心に次々と得点をあげる。岐阜総合も 内田、下里の3点シュートなどで応戦するが、相手の厳しいディフェンスの前にシュートまで行けず苦しい展開となる。第1ピリオド岐阜女子が30-12とリードを奪う。

第2ピリオド、岐阜女子はディフェンスをオールコートマンツーマンに変えてプレッシャーをかけ、ゲームの主導権を完全に掴み、前半で52-19と30点近くリードを広げる。

第3ピリオドに入っても、岐阜女子はディフェンスの足を止めず、プレッシャーをかけ続け、米田、尾崎、東方らが早いタイミングでジャンプシュートを決める。岐阜総合は 野倉がインサイドでがんばるものの攻め手を見いだせない。

第4ピリオド、岐阜女子はベンチメンバーを全員出場させる余裕をみせ、96-46で岐阜総合を下し、決勝リーグでまず1勝をあげた。岐阜総合も最後まであきらめず、下里、猪野間、尾関がシュートを決めるが、相手のディフェンスに苦しみ、思うような試合運びができなかった。(三浦広和)

決勝 リーグ	高山西	68	$\begin{bmatrix} 13 - 10 \\ 19 - 13 \\ 19 - 17 \\ 17 - 25 \end{bmatrix}$	65	県岐阜商	相宮俊郎・宮崎泰彦
-----------	-----	----	--	----	------	-----------

両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、県岐阜商 安田、高山西 原が得点をするが、その後お互いターンオーバーが続く。県岐阜商は 吉野のポストプレーを中心に攻め、高山西は 片山、浅生、井川が速い展開から攻めていく。第1ピリオドは13-10とロースコアながら高山西がリードして終わる。

第2ピリオド、県岐阜商は 山田がインサイドプレーや3点シュートで得点をあげる。高山西はアウトサイドシュートが決まらないが、清水がミドルシュートを決めたのをきっかけに、片山が連続で3点シュートを決め、前半は32-23と高山西が9点リードで終わる。

第3ピリオド、高山西 原が連続で3点シュートを決める。一方、県岐阜商も 吉野が合わせからのシュート、松尾が3点シュート、池田がインサイドシュートを決める。ここで、高山西はディフェンスのプレッシャーを強め、インターセプトから 片山の3点シュートなどが決まる。第3ピリオドは、51-40と高山西が11点をリードして終わる。

第4ピリオド、県岐阜商は 山田、松尾が積極的に攻め点差を詰めていく。ここで高山西は 片山、垣内をコートに戻すが、県岐阜商は 山田、池田の3点シュートで4点差まで詰めよる。その後、お互い激しいディフェンスからリバウンド争いを繰り広げ、残り1分半、県岐阜商は 松尾の3点シュートで1点差に追い上げる。県岐阜商はさらに食い下がるが、残り16秒で痛恨のファウル。高山西は 原が落ち着いてフリースローを2本決め、68-65の3点差で勝利した。(井口貢志)